

と語る会》

5月27日から6月4日にかけて、本町議会主催による【住民と議会と語る会】を、各公民館6地区で実施しました。住民からは79名の方々に参加を頂き、議会の仕組みや役割について説明をし、その後意見交換を行いました。

【意見交換会の内容抜粋】

Q：子育て支援で、子ども医療費の助成を中学校まで拡大して欲しい。

A：現状では小学校卒業までだが、今後、検討される案件であるので、議会としても努力したい。

Q：産み育てる環境づくり（産科医院の誘致）をしないと、安心して赤ちゃんも産めない。

A：以前、議会の一般質問でも行ったが、大隅半島で広域的に取組み、国・県にも働きかけ子育ての環境づくりに努力していく。

Q：大崎は畜産の町だが、語る会の資料は畜産に関する予算の説明が明記されていない。農家にとっては、一番関心がある。

A：1千万円以上の予算だけを計上し説明したが、畜産関係については、1千万円以下の助成はたくさんある。今後、検討する。

Q：地区多目的広場（グラウンドゴルフ）の芝の管理を老人クラブに委託できないか。また、芝の質が悪くいろんな草が生えてきている。

A：管理については民間業者に委託しているので、教育委員会に相談して欲しい。

Q：防災無線戸別受信機の設置はいつから始まり、いつ設置完了するのか。また、個人負担はあるか。

A：平成25年度に町内全戸に設置、26年度には事業所にも設置する計画で、個人負担はない。

Q：河川水質が年々悪くな

り、魚等が激減していると思われるかどうか。

A：NPO活動の中で年度を隔てて水質検査を行った結果、年々悪くなっているようである。様々な要因が考えられるが、経済との絡みも否定できないと思われることから、生活環境と地元経済とのマッチングについて、住民の方々の十分な議論が必要である。

Q：人口減少社会の中で、どのように町政を維持していくのか。

A：交流人口を増やすことは基より、議会としても本町への定住化のため、様々な提言をしている。近いうちに、町長から提案されると思う。

Q：ごみを熱源に利用するために、あすばる温泉と大きな焼却炉を造れないか。

A：大きな焼却炉は費用もかかり、公害の問題もあるため、本町はごみの分別に力を入れていく方針である。

Q：菱田中・大崎第一中の跡地利用は、目処がたっているのか。

A：菱田中は有明高校との兼ね合いもあるので、ある程度、煮詰まってから検討することになって

